

知エネルギーってなに？

出光社員さんからの手紙



## 石油がじっとしているのに活躍してる？

こんにちは。  
 元気になっているかな？  
 この間はどうもありがとう！石油についていろいろとスルドイ質問をもらったけれど、あれから石油やエネルギーについてどんなことを学んだかな？  
 この前のお話は覚えている？  
 「石油は暮らしを支える大切な資源なんだよ」というお話をしたよね。



この「大切な資源なんだ」ということについて、この前、伝えられなかったことがあったので今回この手紙を送ることにしたんだ。

石油は、みんなの暮らしの中でガソリンやプラスチックなど、いろいろなところで活躍（かつやく）していることはよく知られているけれど、実は、それだけじゃないんだ。それは何かというと・・・タンクの中でじっと必要になるときを待っているという「活躍」というものもあるんだよ。これを石油の「民間備蓄（びちく）」っていうんだけどね。「なにそれっ?!」って思うよね。でもこれがスゴイ活躍なんだよ。エネルギー資源には、風力、水力、太陽光、天然ガスなどいろいろな資源があるけど、大量に貯蔵できて複数の用途（ようと）に使える資源は今のところ石油のほかにはないんだ。もちろん石油は可燃性で燃えやすいものだから、人にも環境（かんきょう）にも安全に貯蔵するために、たくさんの知エネルギーが使われているよ。



安全に貯蔵する知エネルギーに加え  
 万一に備え消防訓練も行っています。

大きな自然災害が起こることを考えて自然エネルギーにも関心が高まっていて、それも大事なことでけれど、イザという時のために石油を備蓄しておくことも同じくらい大事なんだ。そういう緊急時（きんきゅうじ）にすばやく供給できるようにするための備蓄だからスゴイ「活躍」って言えるんだ。

この前お話しをした時から少し時間がたって、技術の開発も進んできて、“石油をつくる藻（も）”が原料のガソリンで自動車を走らせることができたりもしているんだけど、まだまだ研究中。実際に使えるようになるには時間が必要といわれているんだ。だからこそ一番大切なことは何も変わってなくて、それは「大切な資源である石油をムダに使わない」ということなんだよ。

まだまだ話したいことはたくさんあるけれど、またみんなと会う機会があればそのときに、もっといっぱい話したいな。  
 それでは体に気を付けてね！